

「保健医療大学の機能強化に向けた調査検討事業」について



(幕張キャンパス)



(仁戸名キャンパス)

令和6年9月10日(火)

第1回保健医療大学の機能強化に向けた調査検討会議
千葉県健康福祉部医療整備課看護師確保推進室

1

(1) 保健医療大学の概要

- ・ 旧千葉県立衛生短期大学（幕張） ・ 旧千葉県医療技術大学校(仁戸名)を統合して平成21年4月に開学
- ・ 1学部4学科2専攻、総定員740名

健康科学部	看護学科 ※3年次編入学の定員は10名以内	80名
	栄養学科	25名
	歯科衛生学科	25名
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	25名
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	25名

- ・ 大学院無し、医学部無し、附属病院無し
- ・ 運営は県直営（法人化はしていない）
- ・ 略称は「保医大（ほいだい）」

2

(1)保健医療大学の概要

・幕張・仁戸名の2キャンパス体制



幕張キャンパス

住所：千葉市美浜区若葉
2-10-1

最寄り駅：JR幕張駅、京成幕張駅、
JR海浜幕張駅(いずれも徒歩15分)

仁戸名キャンパス

住所：千葉市中央区仁戸名町
645-1

最寄り駅：京成千原線大森台駅
(徒歩25分)

※主にリハ学科の3・4年生が通学

3

(2)保健医療大学の課題

■ 今後本県の保健医療の向上に貢献し続ける大学であるために対応が必要な事項

- ・ 県立大学としての役割発揮、あるべき人材育成
→学部・学科の構成、大学院設置の検討 など
- ・ 施設・設備の老朽化
→幕張キャンパス …1980年築 (43年経過)
→仁戸名キャンパス…1990年築 (33年経過)
- ・ 2キャンパス体制の検証
→2キャンパスを維持するのか、1キャンパス統合か
- ・ その他必要な機能強化
→シンクタンク機能、地域貢献機能 など
- ・ 将来的な法人化の検討
→R6.4時点…91/101公立大学が法人化

4

(3)調査検討事業の概要

○目的

今後も保医大が本県の保健医療の向上に貢献し続けるために、将来を見据えた機能強化に向けた調査検討を行い、もって今後のあり方検討の基礎資料を得ることを目的とする。

○受託事業者

一般財団法人日本開発構想研究所
(契約期間：R6.8.8～R7.3.21)

○本事業の進め方

「調査検討の実施」と「調査検討会議の運営」の両輪で実施

5

(3)調査検討事業の概要

【調査検討の実施】

以下の4つの大項目について、アンケート調査やヒアリング調査、事例調査等を実施しながら検討を進める。

- ①保医大が養成すべき人材像
- ②教育内容と必要な組織等
- ③立地及び施設・設備、運営主体
- ④機能強化の進め方

【調査検討会議の運営】

外部有識者を含む会議体を県が設置し、会議を共同で運営。4回程度の会議を開催予定

6

(4)調査検討項目

○仕様書「業務の概要」の構成 青地：大項目 緑地：中項目 白地：小項目

①保医大が養成すべき人材像に関する調査検討	③立地及び施設・設備、運営主体に関する調査検討
(ア)我が国及び本県の保健医療を取り巻く環境分析等	③-1 キャンパス立地の検証
(イ)大学及び大学院を取り巻く環境分析等	(ア)2キャンパス維持、1キャンパス統合等の比較検証
(ウ)公立大学を取り巻く環境分析等	(イ)キャンパス立地に伴う他機関との連携の検討
(エ)保医大の現状整理(定員充足状況、国試合格状況、卒業後進路等)	(ウ)地域振興の観点からの分析
(オ)保医大の学部・学科及び大学院で養成すべき人材像の検討	(エ)他大学の同種事案の調査検討
②教育内容と必要な組織等に関する調査検討	③-2 施設・設備の整備に関する調査検討
②-1 学部・学科の構成や教育内容に関する調査検討	(ア)機能強化に必要な施設・設備の検討(立地案ごと、複数案)
(ア)既存学部・学科の定員、教育内容等の検討	(イ)施設整備の概略図面(施設配置図)の作成(各案につき)
(イ)新たな保健医療領域に関する学部・学科の必要性の検討	(ウ)施設・設備の整備費用の概算(各案につき)
(ウ)今後の学生・教員の確保見通し、確保施策の検討	(エ)施設・設備の整備に活用可能な交付金・補助制度等の調査
(エ)卒業後の進路の見通し、事業者の採用ニーズ等の検討	(オ)他大学の同種事案の調査検討
(オ)上記に関する他大学の取組の好事例の紹介	③-3 公立大学法人化に関する調査検討
(カ)上記を踏まえた学部・学科の構成や教育内容の提案(複数案)	(ア)法人化した場合の人員や組織、財務等の運営体制の検討
②-2 大学院の設置可能性に関する調査検討	(イ)法人運営に必要な設備・システム等の検討
(ア)大学院の必要性の検討	(ウ)公立大学法人化後10年間の経営分析
(イ)大学院に必要な課程や機能等の検討	(エ)上記に関する他大学の取組の好事例の紹介
(ウ)大学院の設置ニーズ調査(進学ニーズ・採用ニーズ等)	(オ)上記を踏まえた方向性の提案
(エ)大学院の特色の検討	④機能強化の進め方に関する調査検討
(オ)大学院修了後の進路に関する調査検討	(ア)機能強化実施モデルスケジュールの検討
(カ)今後の院生・教員の確保見通し、確保施策の検討	(イ)機能強化推進体制、費用等の検討
(キ)上記に関する他大学の取組の好事例の紹介	(ウ)他大学の同種事案の調査検討
(ク)上記を踏まえた大学院の設置に関する提案(複数案)等	
②-3 その他必要な機能強化に関する調査検討	
(ア)機能強化に必要な付随的機能の検討(例:メディアセンター等)	
(イ)その他必要な機能強化施策の検討(例:シクタンク機能、地域貢献機能等)	
(ウ)事務局の最適な運営手法(外部委託を含む)の検討	
(エ)学内ネットワーク・システムの最適な管理手法の検討	
(オ)上記に関する他大学の取組の好事例の紹介	
(カ)上記を踏まえた方向性の提案等	

(5)調査検討会議

○検討会議のスケジュール予定

	9月(9/10)	11月	1月	3月
主な議事予定	第1回 会議	第2回 会議	第3回 会議	第4回 会議
①保医大が養成すべき人材像	◎	○		○
②教育内容と必要な組織等		◎	○	○
③立地及び施設・設備、運営主体			◎	○
④機能強化の進め方			◎	○
【成果報告書の取りまとめ】				◎

(◎はメインで検討する項目)